

第2学年だより NO.2

令和3年4月16日
第2学年主任



寒の戻りで肌寒く感じられる日が出てまいりました。慌ただしい年度初めの学校生活の中で、疲れを感じているお子さんも見受けられます。部活動や登下校時のけがや事故なども増える時期ですので、学校でも十分気を付けて活動させたいと思います。ご家庭でもお声かけをお願いいたします。

☆4月12日（月）避難訓練を実施しました☆

進級に伴い、教室も移動になりました。今回は地震の後に火災が発生したという想定のもと、新しい避難経路を確認しました。生徒の感想を紹介いたします。

地震はいつどこで起こるかわからないので、しっかりと避難経路を確認し、いつでも安全に避難できるようにしたい。また、火災については、起こさないように自分で気を付けることができる部分もあるが、今回のように地震が原因で発生してしまうこともある。火災が起きた場所によって避難経路を変えるなど、状況を判断して冷静に行動できるようにしたい。いざという時のために、消火器の使い方も読んでおこうと思った。（酒巻菫伍）

今回の避難訓練は、無言で行動することができました。去年とは避難経路が変わったので、日頃から気を付けたいです。地震のときは出入り口を開けて避難経路を確保し、火災のときは出入り口や窓を開けて空気の侵入を少なくするという判断が難しいと感じましたが、改めて、大切なことだと思いました。（白井暖人）

今回は2年生として最初の避難訓練でした。1年生の手本になると言うことを心がけて行動しました。校長先生のお話にあったように、自分の教室にいるときに災害が起きるとは限らないので、理科室だったら、音楽室だったら、他の教室からの避難経路も調べておこうと思いました。また、自宅で地震が起きたときのことや、夜中に起きたときのことも考えていこうと思いました。（渡辺莉央）

訓練ではパニックを起こす人はいないけれど、油断した状態で地震や火災が起きたら、冷静な判断は難しいと思うので、日頃からどこにいてもすぐ逃げられるように備えておきたいと思いました。今回は先生の指示を聞いて行動したけれど、先生方がいないところで何かがあったときにも避難ができるように、自分の命を守るようにしたいと思いました。（渡邊結香）

いつどこから避難することになるかわからないし、みんなと一緒にいるときだけでなく一人のときかもしれないので、人任せにせず、自分で避難経路や集合場所を覚えておくことが必要だと思った。災害で命を落とすことがないように、訓練では真剣に無言で取り組むようにしていきたいと思った。（園部綾太）

この頃震度3以上の地震が増えてきているように感じていたので、私たちもいつ本当の避難をすることになるかわからないと思う。だから、今回の避難訓練では「今は本当に揺れている」「給食室から火や煙が出ている」といながら避難をした。阪神淡路大震災のときは、地震の後に火災がおり、火災による被害のほうが多かったと聞いたことがある。今回、それを想定した訓練ができてよかったと思った。（小池香菜子）

※学校のホームページでは、学校からの各種たよりや、行事の様子を写真などでご覧いただくことができます。
ぜひ「金田北中学校」でご検索ください。